

八王子・日野支部 ニュース

発行者：第2次新横田基地公害訴訟原告団 八王子・日野支部

対八王子市(環境部・環境保全課と総務部・総務課)

騒音問題交渉開催

6月28日
(水曜日)



① 持参資料の説明

- イ. 町会掲示板「5月の飛行騒音記録」
5月の騒音回数は597回と多く、その要因として
1. 新型ハーキュリーズの3号機到着と訓練増加
2. グローバルホーク5機の一時的展開(期間配備)
3. 戦闘機の飛来と一定期間駐機をあげることができる。
横田基地がますます実戦型前進基地化している。
- ロ. 6月7日全国公害被害者総行動デー資料
外務、防衛、国交、環境各省宛て要請文と前年各省交渉報告
- ハ. 月別騒音回数とグラフ(2010.1~17.4)
60dB~70dBの数字を示し訓練空域の拡大が推測されると説明した。
- ニ. 2017.5.1~6.22の騒音観測記録から個々の単発最高騒音(Lamax)が85dB以上を日別、時間別でリストアップした特に5月の個々には目視等により確認できた飛行機機種を掲載した。



② 6月1日の飛行実態

裏に詳細

戦闘機⇒後で韓国籍と分かったが一飛来し、着陸体勢の時他の飛行機との接近問題からか急に複雑な旋回をして、市街地上空をでたらめに飛行した。ハーキュリーズの訓練と同様のことがさらに危険を増して行われた。私たちは今まで毎回現状を理解した上で、八王子市は外務省・防衛省に横田の情報をよこせと要請すべきではないかと問題を指摘してきた。

③ 八王子市への具体的要求=次回回答

イ. 低周波調査について、すでに沖縄にオスプレイは『配備』されており、関係自治体は十分にこの問題には取り組んでいる。調査し報告を。
ロ. 「石川市民センター」の観測器
昨年市からの回答で「騒音」は増えていないとの根拠として題記観測器のデータを使っていたが、この観測器はいつ置され、その前はどこのか？調査し報告願いたい。

次回8月3日(木曜日)午前10時より

裁判報告と懇親会のご案内

7月29日(土曜日) 18:30~20:00

会費:1,000円

(食事・飲み物代として)

会場:宇津木台町会会館

久保山町1-20-6(久保山学童保育園隣)

- ☆ 裁判関係報告(吉田榮士弁護士より)
- ☆ 八王子・日野支部の活動報告
- ☆ 懇親会

参加ご希望の方は7月24日(月曜日)までに

下記世話人へご連絡ください。

*中島(久保山町)TEL:186-042-692-3995

*後藤(久保山町)TEL:042-692-0985

*立石(久保山町)TEL:042-692-3995

*宮川(久保山町)TEL:042-691-5141

*守屋(石川町)TEL:090-5750-6952

今年で42回を迎えた総行動は日比谷公園霞門入り口での集会で大きく盛り上がり、午前中の国交省との交渉を始め環境省、外務・防衛省との交渉が行われた。



対外務省・防衛省交渉

八王子・日野支部の原告9名参加

全体の様子は下記の参加者の感想にある通りですが、気になった当日の発言から、

①沖縄の方から、「政府は負担軽減のためと言って、沖縄海兵隊の訓練を本土・グアムへ日本政府の経費負担で回した居るが、その空いた沖縄の基地に米軍は他地から飛行機・兵員を呼び入れて訓練している。これは二重・三重の誤魔化しで、税金が使われていることにも許せない。」

②東京新聞(2017.5.26)にグローバルホークの横田基地一時配置で、米軍高官が『制御失っても自動で離着陸』と載っている。この技術をなぜオスプレイにつけないのか。あなた方の誰も知らないという事はないだろう。よく勉強して、結果をここに出席の議員さんに文書で回答してほしい。



③横田基地で降下訓練するパラシュート兵は日本以外からきているのでは——回答『沖縄からと聞いている』——2012年にはアラスカから来たと聞いているが——回答『すいませんが、そこは私は把握していません』——知らぬことにする

参加者から感想

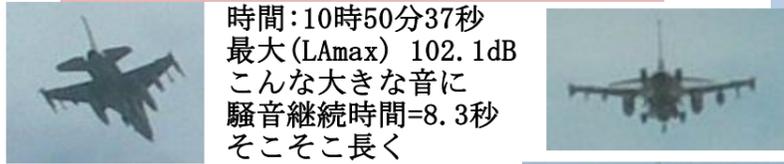
今回は防衛省と外務省を一緒に行なった為 回答に要する時間で予定した時間の殆どが費やされた為、やりとりをする中で大幅な時間延長となりました。しかし、私の印象では会場参加者がかつて無い強い迫力で政府側を追いつめた感があります。確かに回答の内容は例えば、「軍用機の市街地上空での訓練飛行、又日本のどこでも低空飛行訓練を行わせないこと。」に対し「日米安保条約の目的達成の為 必要。尚地域住民への影響を最小限に求めている。」との答え。又オスプレイ配備の意義については、「わが国に於る安全保障環境が厳しく アジア 太平洋地域で云々、故にオスプレイ中止を求めるつもりはない。」更にオスプレイの事故原因究明については、「安全を確認したが、機自体に問題はない。今後再発防止策を講じるよう求める。」などが多かった。そんな回答を40分?も聞かされて、沖縄の普天間、嘉手納、岩国、厚木、石川県小松基地 そして東京横田基地関係者が参加する会場で、怒りが沸騰しない筈は有りません。要請に対し米側に「安全面の配慮を求めるとか申し入れる」とか毎年言うが、具体的に米側の答えが見えない。皆さんの強い要望の背景には、昨年の安保法制で戦争が現実になり基地の役割が強化されていることとも思います。尚、国会議員が参加していたことで、書面での回答を宮本事務所に出す様議員が要請し0kが得られたのは心強かったです。



外務・防衛省は当初交渉時間は45分間としたが、回答に対し具体的な質問を次々と投げかけ、一時間半にわたる交渉ができた。次回は今回の回答を基により具体例で迫りたい。

6月1日(木曜日)

① 外来戦闘機の飛来



時間:10時50分37秒
最大(LAmax) 102.1dB
こんな大きな音に
騒音継続時間=8.3秒
そこそこ長く

時間:11時10分33秒
最大(LAmax) 82.6dB
騒音時間=10.1秒
3枚の連続写真



この間、11分
と16分に戦闘機
だいたい西側を飛ぶ
3機編隊
時間:11時24分45秒
最大(LAmax) 76.8dB
騒音時間=18.9秒

時間:11時28分11秒
最大(LAmax) 86.0dB
騒音時間=9.7秒



時間:12時28分55秒
最大(LAmax) 87.9dB
騒音時間=8.5秒
2機編隊



大型空中給油機KC-135Rが戦闘機に
同行するため同時に離着陸している。



時間:12時57分30秒
最大(LAmax) 82.0dB
騒音時間=12.6秒



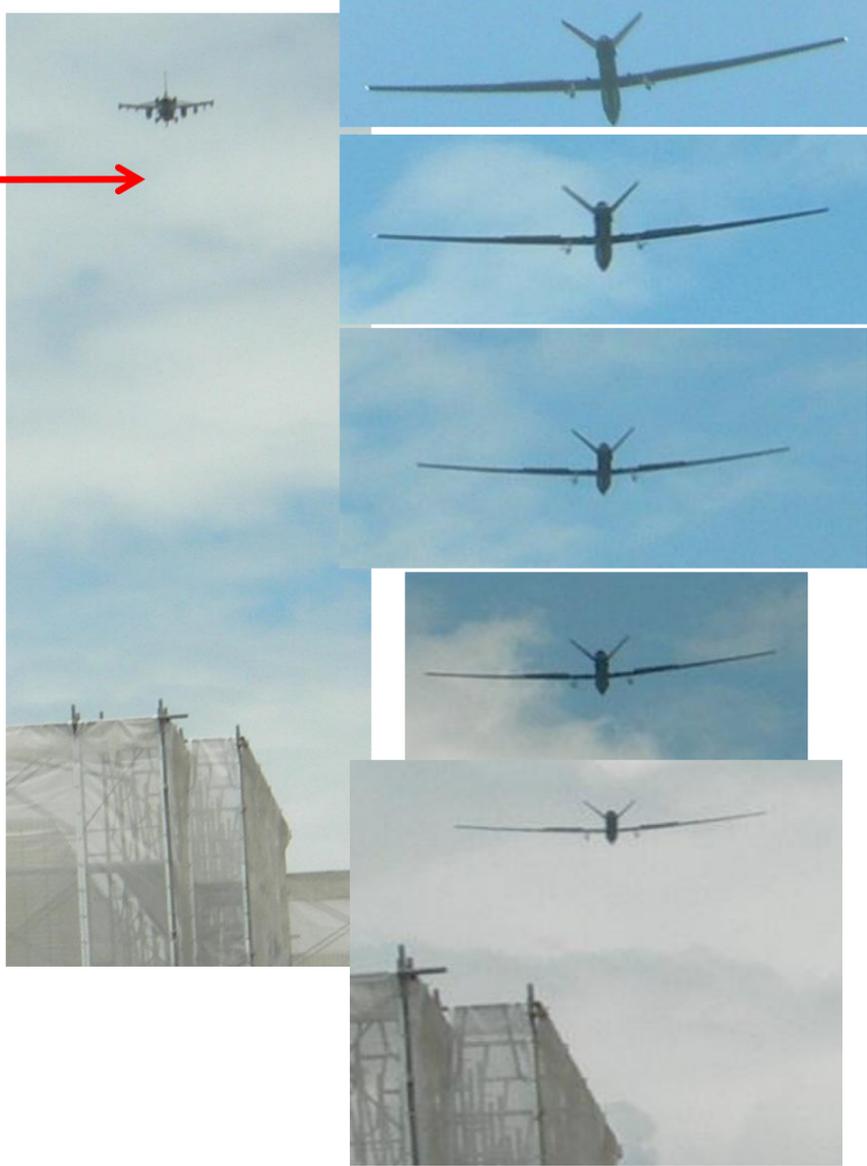
時間:13時02分08秒
最大(LAmax) 83.2dB
騒音時間=12.2秒

こんなに騒音があった日は 今まであったらどうか？

騒音回数 65回 騒音指数 (Lden) 61.06dB

時間:11時08分19秒
最大(LAmax) 84.3dB
騒音継続時間=13.3秒

② グローバルホーク駐機



時間:11時51分07秒
最大(LAmax) 60.8dB
騒音継続時間=5.7秒

頭上を飛んでオリ
ンパス研究所の上
を通過するまで
11秒ほどかかっ
ている。

騒音測定器の「閾
値=しきいち」の設
定が60dBなので60
より低くなると記
録しないという事
で騒音継続時間が
5.7秒と短く記録さ
れているが、頭上
を低い音でゆっく
り通り過ぎるのも
不気味というほか
ない。

無人飛行機と分
かっているの
で、本当に大丈夫かな
という不安が湧く
のも不思議ではな
い。

これは番外で6月4日飛来の空中警戒機



時間:14時05分52秒
最大(LAmax) 96.0dB
騒音時間=8.2秒

③ 新型ハーキュリーズの3号機到着



新型登場
プロペラが6枚
時間:11時34分34秒
最大(LAmax) 73.5dB
騒音継続時間=11.9秒

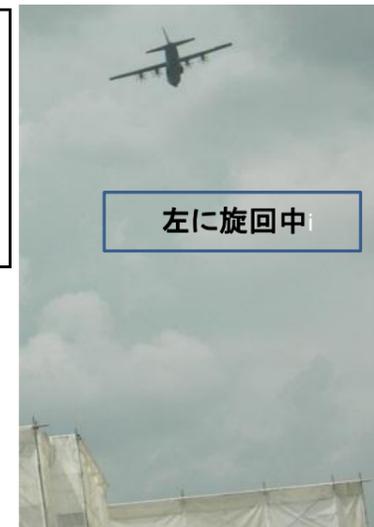
目視で新型かど
うかの判断は難し
いが、写真に撮れ
れば、プロペラが数
えられる。



これは、6月16日
フル装備で飛行
時間:17時36分03秒
最大(LAmax) 75.6dB
騒音継続時間=13.4秒



これが旧型
写真だからわかる。
時間:12時21分34秒
最大(LAmax) 82.2dB
騒音継続時間=13.0秒



左に旋回中



着陸する体制

定番: 巨大輸送機C-17



2017.6.14
12:54:46
LAmax 88.7dB



2017.6.12
12:06:01
LAmax
82.1dB